

# がくどうほいくふなばし

No. 10 市連協だより  
船橋市学童保育連絡協議会  
(Tel/Fax) 047-433-9266

2002.3.22(金)発行  
(住所) 船橋市西船2-2-21  
(ホームページ) homepage2.nifty.com/fghrk/

## 市の方針変更で<sup>1~3</sup>年生で 31人が入所できず 「子どもたちをルームに入れて！」

### ～市連協と父母が緊急申し入れ～

市連協では、来年度入所に関して、1～3年生が31人入所できない(1～6年生で66人)ことが判明したため、3月13日、『入所に関する緊急申し入れ』を行いました。約1時間、児童家庭課長と懇談し、「再検討し20日までに回答する」ことになりました。

これには市連協から5名、当事者である八栄小の保護者の方2名が参加しました。

### 入所に関する緊急申し入れ(概要)

- 1 今まで通り、定員の2割まで入所を受け入れてほしい。
- 2 緊急的な対応として、ルームの一時的な増設、近隣ルームでの受け入れ、児童ホーム利用、などを検討してほしい
- 3 抜本的な対策として、ルームを適正な規模に増設を
- 4 国の通知に即し、4年生以上でも積極的な受け入れを
- 5 古和釜なかよしクラブなど、民間の学童保育にも補助金を



### 「児童ホームで受け入れたい」と市が回答

20日、児童家庭課長から次の回答(概要)がありました。

- 1 児童ホームで緊急的な受け入れを考えている。具体的には、カバンを持ったまま児童ホームに直行できる、弁当を食べられるなど、他の利用児童と別の取り扱いにする。職員体制などは検討中。月曜日などホームの休館日は休み。
- 2 ルームの定員については、守っていききたい。三山小ルームのように1名定員オーバーでも、児童ホームで受け入れたい。

市の回答は、13日の時点より前進はあったものの、不明な点が多く、月曜日の対応や、職員体制など、安定的な受け入れという点で問題が多いのではないのでしょうか。

市連協では、この回答を受け、関係する父母も交えて協議します。 <2面に続く>

# 3月13日の懇談の概要

13日は市連協より要望書を手渡し、入所できない子どもたちをルームに入れるよう、強く要望しました。主な論点は以下の通りです。

具体的な要望事項	当局の回答	市連協の主張
『定員の2割増』を適用し、3年生までの全員入所を実現してほしい。	今年度定員を増やしている。2割増では、入所児童の安全が確保できず、ロッカーなど施設面でも問題が出てくる。	今までやっていたのになぜできないのか。(定員の3割増まで受け入れたルームもあった) 緊急非難的な措置として必要である。 入所できない子どもの安全はどうするのか。
ルームの一時的な増設、近隣ルームでの受け入れ、児童ホームを利用すること、などを検討してほしい。	市の方針は、学校内に施設をつくること。また近隣ルームでは学校が異なるため運営に支障をきたす。増設も現状ではむずかしい。	緊急避難的措置であり、検討すべき。児童ホームはルームの分室的な利用をできないのか。 近隣ルームでの受け入れは今でもやっており、ノウハウはある。

## 「ルームに入れないのでは、安心して働けない」

また参加した保護者からも、「夏見の保育園は定員の125%入園しており、子どもたちが増えていることを市はわかっていたはず。近隣の夏見台小に余裕があるので、せめてそこに集団で通えないか」

「5月から勤務地がかわり遠くなる。ルームに入れないのでは、安心して働けない。」  
「仕事の関係上、夜7時まで帰れない。何とかしてほしい」など切実な声が出されました。

## 「父母の声を真剣に受け止めて！」市は再検討を約束

これに対して児童家庭課は、「今年度は、定員の見直し(21ルームで285増)を行ない、受入枠を増やしている。入所児童の安全を考え、定員は守りたい。近隣ルームの受け入れなどはむずかしい」と従来の回答を繰り返すばかりでした。

市連協では、父母の声を真剣に受け止めてほしい、ぜひ子どもたちを入れてと、以下の点を指摘し再検討するよう強く迫りました。

市が方針を転換したことによって、今回の事態がおきていること、

そのことを保護者や市連協に全く伝えてないこと、

市が具体的な要望事項を全く検討すらせず、保護者にすべて押し付けるのはおかしい、

課長は、市が方針を転換したことやそれを保護者に伝えてないことを認め、「持ち帰って再検討する」ことを約束しました。

## 2月20日児童家庭課長と懇談概要( 2 )

2月20日、市連協役員4名と児童家庭課長が懇談しましたが、がくどうほいくふなばし第9号に続き、懇談内容(抜粋)を掲載します。

〔3〕法典西放課後ルームの移転問題については、父母の現時点での最小限の要望となっている学校施設の利用について、市と学校との話し合いの進ちょく状況を聞きました。

〔4〕市連協は入所説明会の配布資料にある父母会に関する記述を削除することを求めました。市は、これまでの記述を削除する代わりに「父母会は任意団体である」旨の記述を入れる意向を表明しました。これについて市連協は「当たり前のことをわざわざ書く必要はない。保育園のしおりにも入っていない。『このチョコレートに毒は入っていません』とわざわざ書かないのと同じ」「むしろ市は基本計画のなかで地域や父母と協力して子育てをすすめると言っているのだから『父母と協力していきます』と書くべきである」と強く求めました。植草課長は当初案を「持ち帰る」とのべました。

〔5〕市連協はルームの行事に父母も参加できるようにしてほしいと要望しました。市はこれまでどおり、行事に父母を参加させる考えはないとのべました。市連協は、4月の新入児童の歓迎会や卒所していく児童のお別れ会などはどうしてもやりたいとの要望が父母の間で大変強い。学校や保育園、一般の社会でも入る時と出る時は、お互いが知り合

い、けじめをつける意味でも常識的な取り組みである、この程度のことは実現できるようにしてほしいと強く要望しました。課長が「保護者会などでやってもらえばいい」と言いましたが、「そうではなくて、親が子どもを知り、親同士も知り合うこと、そして親と指導員が知り合うことが大切であり、保育内容や市への要望などを話す保護者会とは性格が異なる」とのべ、再検討を求めました。

〔6〕市連協は、父母による学童保育である古和釜なかよクラブが来年も継続することを伝え、市の補助金支出を求めました。そして最近、厚労省が4年生以上も含め10名以上の児童がいれば対象事業になると基準を変更した、補助対象事業とするために委託契約の条件を緩和している、などの状況があり、市も児童福祉法の定めに基づいて父母による学童保育にも補助金を出すべきである、再度、市に申し入れたいとのべました。

〔7〕最後に今後とも懇談を重ねていきたい、市も会って欲しいと要望しました。懇談後に福祉サービス部長を尋ね、同部長とも懇談したい旨要望しました。

### 2月定例会の報告(2月22日)

2月20日の児童家庭課長との懇談内容を報告し、各父母会からアンケートの取り組みやバザー、お別れ会等行事などについて交流しました。

# プロのマジックにびっくり

# 父母会の動き

～ 古和釜なかよしクラブのお楽しみ会、地域との交流が進む～

3月3日(日)古和釜なかよしクラブ(父母共同運営の学童保育)は、お楽しみ会を開催しました。

日頃お世話になっている地域の方々や子ども達に、なかよしクラブを無料で開放し、子ども約20人、大人約10人が集まりました。

## スライム作りや餅つきも

プロのマジックショーが無料で見られる。スライムが無料で作れる。つきたてのお餅が無料で食べられるという今回の企画。

プロのマジシャンとは、ダーク広和さんという人で、笑点等に出演したことがあります。不思議!おもしろい!(結構ギャグが頻繁に出まして...)という歓声のうちに1時間半があつという間に過ぎてしまいました。観客の指輪がいつの間にかライターの奥に埋まっている等々、ミスターマリ

トランプ手品を見入る  
親と子どもたち



ック顔負けのマジックに魅了されました。

マジシャンの後は、庭でスライム作り。一人2個まで無料で作れるので子ども達は大喜び。わたあめ・つきたてのお餅・ポップコーンも無料で食べられ、参加者は大満足でした。市連協のニュースを見てやって来たという近くのルームの人もいました。また、来年度なかよしクラブに入所を考えているという人も現れ、なかよしクラブのアピールの場にもなりました。

## 放課後ルームアンケートにご協力を

1月から取り組んでいるアンケートは、ファックスや郵送で市連協事務所へと届けられています。「子どもに聞かないとわからないことがあるので、親子でルームについて考える場になった」という感想も寄せられています。まだ記入されていない方は、親子で取り

組みましょう。市連協のホームページからも回答できますよ。

### ～ 今後の予定 ～

- 4月26日(金) 定例会  
< 予定・女性センター >
- 5月19日(日) 市連協定期総会  
< 午後から 船橋市中央公民館 >